



躯体作図パターン

1) 通り芯の作図（同じ間隔で作図）	1
2) 通り芯の作図（1 に続けて違う間隔で作図）	1
3) 通り芯の作図（2 に続けてY通りの作図）	2
4) コンクリート柱の配置（1 点指示）	2
5) コンクリート柱の配置（矩形指定）	3
6) コンクリート柱の配置（範囲指定）	3
7) コンクリート柱の配置（芯ずれ）	4
8) 壁の配置（2 点指示）	4
9) 壁の配置（矩形指定）	4
10) 壁の配置（柱と繋げる）	5
11) 壁の配置（芯ずれ）	5
12) コンクリート梁の配置（2 点指示）	5
13) コンクリート梁の配置（矩形指定）	6
14) コンクリート梁の配置（芯ずれ）	6
15) 開口部（片開き）の配置	7
16) 開口部（片開き）の配置（トレース）	7
17) 開口部（親子扉）の配置	7
18) 開口部（引違い2枚戸）の配置	7
19) 材質付加	8

躯体編集パターン

1) 通り芯の伸縮	9
2) 通り芯の追加	9
3) 通り芯名称の変更	10
4) 通り芯記号（バルーン）の追加	10
5) 包絡処理	10
6) 大きさの変更（柱）	11
7) 大きさの変更（片開き）	11
8) 塗りつぶしの変更	11

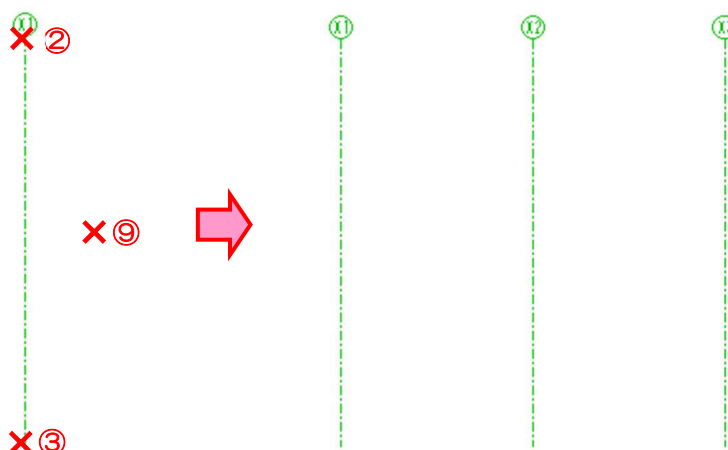
躯体作図パターン

1) 通り芯の作図（同じ間隔で作図）

- ① [建築躯体]-[通り芯]
- ② 1 本目の通り芯となる線の始点をクリック
- ③ 終点をクリック
- ④ [配置方法]から「芯間隔・本数指定」を選択
- ⑤ [パルーン文字列]に 1 本目の通り芯番号をキー入力
- ⑥ [通り芯間隔]に次の通り芯までの間隔をキー入力
- ⑦ [作成本数]に通り芯の本数をキー入力
- ⑧ <OK>ボタンをクリック
- ⑨ 通り芯の配置方向をクリック



同じ間隔で配置する通り芯の本数を設定します。

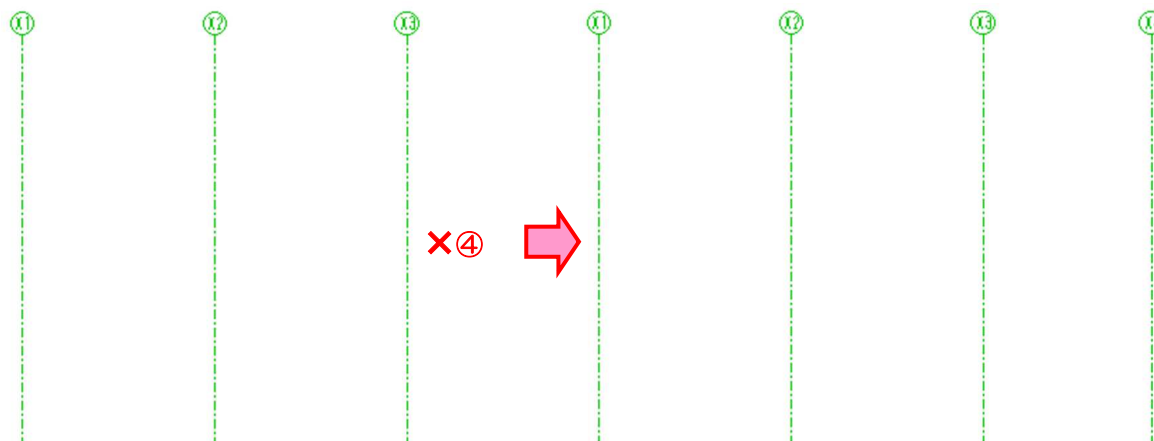


2) 通り芯の作図（1 に続けて違う間隔で作図）

- ① [通り芯間隔]に次の通り芯までの間隔をキー入力
- ② [作成本数]に通り芯の本数をキー入力
- ③ <OK>ボタンをクリック
- ④ 通り芯の配置方向をクリック

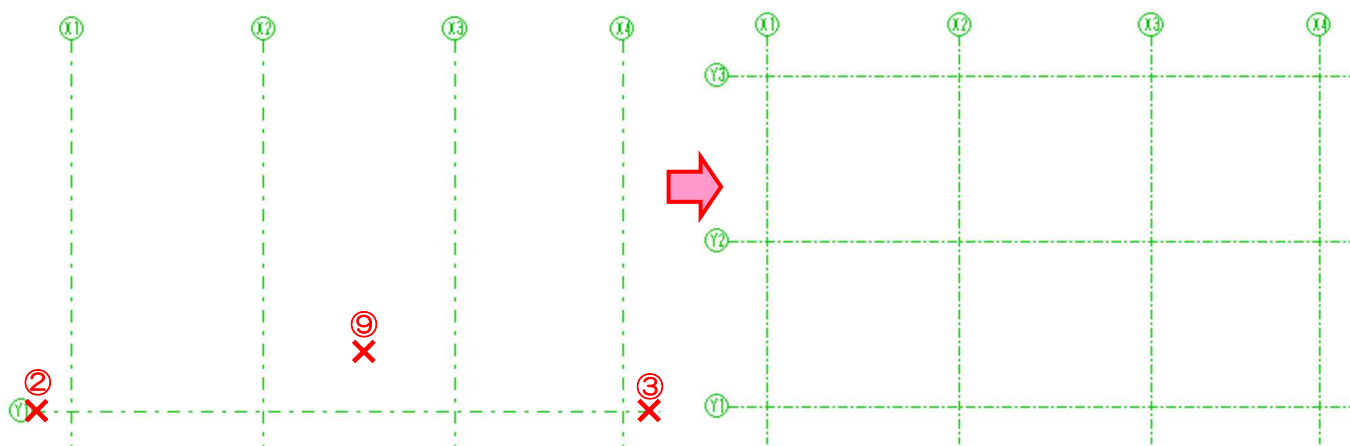


違う間隔の通り芯がある場合は、2) の操作を繰り返します。



3) 通り芯の作図 (2に続けてY通りの作図)

- ① <新規通り芯>ボタンをクリック
- ② 1本目の通り芯となる線の始点をクリック
- ③ 終点をクリック
- ④ [配置方法]から「芯間隔・本数指定」を選択
- ⑤ [パルーン文字列]に1本目の通り芯番号をキー入力
- ⑥ [通り芯間隔]に次の通り芯までの間隔をキー入力
- ⑦ [作成本数]に通り芯の本数をキー入力
- ⑧ <OK>ボタンをクリック
- ⑨ 通り芯の配置方向をクリック
- ⑩ <キャンセル>ボタンをクリック



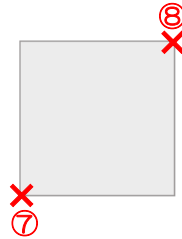
4) コンクリート柱の配置 (1点指示)

- ① [建築躯体]-[柱]
- ② 「コンクリート柱 (RC)」を選択
- ③ [断面形状]から「角柱」を選択
- ④ [指示方法]から「1点指示」を選択
- ⑤ [基準点]から中心を選択
- ⑥ [断面縦] [断面横]に柱のサイズをキー入力
- ⑦ [芯ずれ (x)] [芯ずれ (y)]に「0」とキー入力
- ⑧ [柱上端]に柱の上端高さをキー入力
- ⑨ [柱下端]に柱の下端高さをキー入力
- ⑩ 配置位置をクリック

柱の中心が⑩でクリックした位置にある場合は、芯ずれ「0」の設定で配置します。

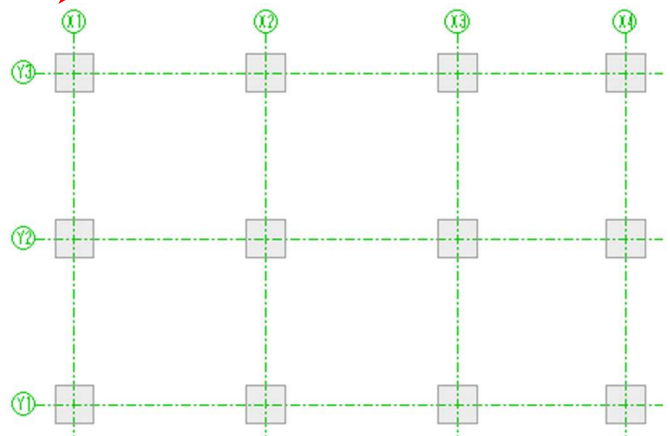
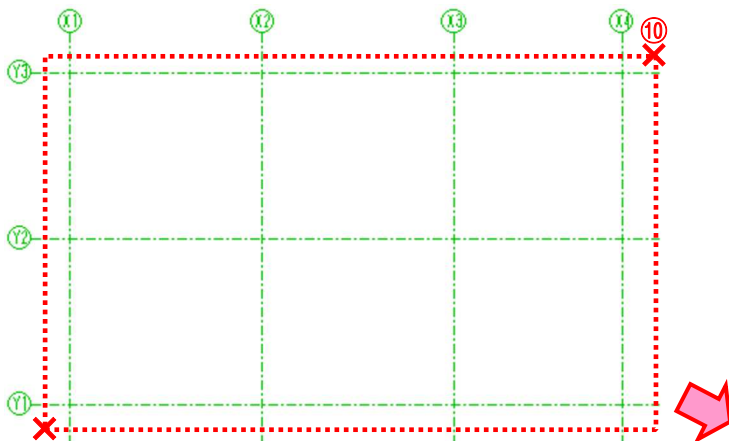
5) コンクリート柱の配置（矩形指定）

- ① [建築躯体]-[柱]
- ② 「コンクリート柱（RC）」を選択
- ③ [断面形状]から「角柱」を選択
- ④ [指示方法]から「矩形指定」を選択
- ⑤ [柱上端]に柱の上端高さをキー入力
- ⑥ [柱下端]に柱の下端高さをキー入力
- ⑦ 頂点をクリック
- ⑧ 対角の頂点をクリック



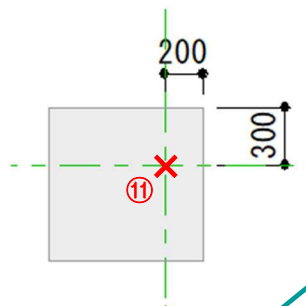
6) コンクリート柱の配置（範囲指定）

- ① [建築躯体]-[柱]
- ② 「コンクリート柱（RC）」を選択
- ③ [断面形状]から「角柱」を選択
- ④ [指示方法]から「範囲指定」を選択
- ⑤ [基準点]から中心を選択
- ⑥ [断面縦] [断面横]に柱のサイズをキー入力
- ⑦ [芯ずれ (x)] [芯ずれ (y)]に「0」とキー入力
- ⑧ [柱上端]に柱の上端高さをキー入力
- ⑨ [柱下端]に柱の下端高さをキー入力
- ⑩ 柱を配置する通り芯の交点を選択
- ⑪ 右クリックで確定



7) コンクリート柱の配置（芯ずれ）

- ① [建築躯体]-[柱]
- ② 「コンクリート柱（RC）」を選択
- ③ [断面形状]から「角柱」を選択
- ④ [指示方法]から「1点指示」を選択
- ⑤ [基準点]から右上を選択
- ⑥ [断面縦] [断面横]に柱のサイズをキー入力
- ⑦ [芯ずれ（x）]に横方向のずれをキー入力
- ⑧ [芯ずれ（y）]に縦方向のずれをキー入力
- ⑨ [柱上端]に柱の上端高さをキー入力
- ⑩ [柱下端]に柱の下端高さをキー入力
- ⑪ 配置位置をクリック

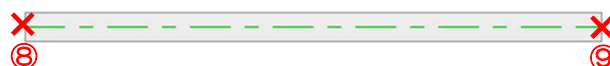


柱の中心が⑪でクリックした位置にない場合は、芯ずれに基準点からのずれを設定して配置します。



8) 壁の配置（2点指示）

- ① [建築躯体]-[壁]
- ② [指示方法]から「2点指示」を選択
- ③ [基準点]から中心を選択
- ④ [壁厚]に壁厚をキー入力
- ⑤ [芯ずれ]に「0」とキー入力
- ⑥ [壁上端]に壁の上端高さをキー入力
- ⑦ [壁下端]に壁の下端高さをキー入力
- ⑧ 始点をクリック
- ⑨ 終点をクリック



壁の中心が⑧⑨でクリックした位置にある場合は、芯ずれ「0」の設定で配置します。



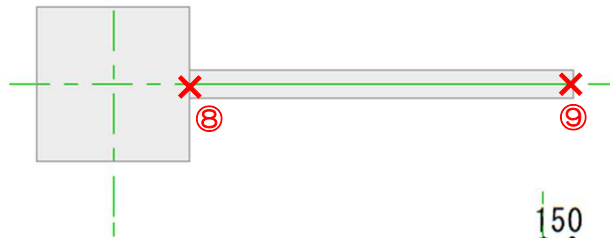
9) 壁の配置（矩形指定）

- ① [建築躯体]-[壁]
- ② [指示方法]から「矩形指定」を選択
- ③ [壁上端]に壁の上端高さをキー入力
- ④ [壁下端]に壁の下端高さをキー入力
- ⑤ 頂点をクリック
- ⑥ 対角の頂点をクリック



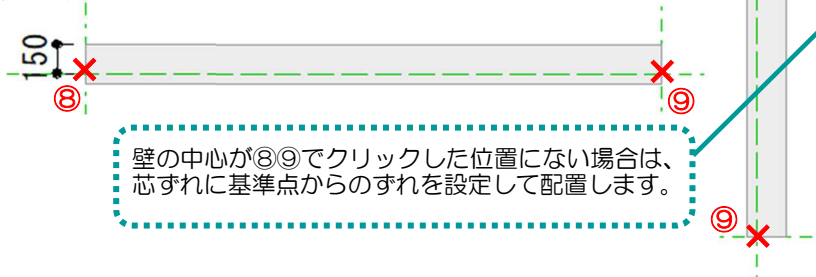
1 0) 壁の配置（柱と繋げる）

- ① [建築躯体]-[壁]
- ② [指示方法]から「2点指示」を選択
- ③ [基準点]から中心を選択
- ④ [壁厚]に壁厚をキー入力
- ⑤ [芯ずれ]に「0」とキー入力
- ⑥ [壁上端]に壁の上端高さをキー入力
- ⑦ [壁下端]に壁の下端高さをキー入力
- ⑧ 始点をクリック
- ⑨ 終点をクリック



1 1) 壁の配置（芯ずれ）

- ① [建築躯体]-[壁]
- ② [指示方法]から「2点指示」を選択
- ③ [基準点]から上を選択
- ④ [壁厚]に壁厚をキー入力
- ⑤ [芯ずれ]に基準点からのずれをキー入力
- ⑥ [壁上端]に壁の上端高さをキー入力
- ⑦ [壁下端]に壁の下端高さをキー入力
- ⑧ 始点をクリック
- ⑨ 終点をクリック



1 2) コンクリート梁の配置（2点指示）

- ① [建築躯体]-[梁]
- ② 「コンクリート柱（RC）」を選択
- ③ [指示方法]から「2点指示」を選択
- ④ [基準点]から中心を選択
- ⑤ [梁幅]に梁の幅をキー入力
- ⑥ [梁せい]に梁の高さをキー入力
- ⑦ [芯ずれ]に「0」とキー入力
- ⑧ [梁天端（始端）]に梁の天端高さをキー入力
- ⑨ 始点をクリック
- ⑩ 終点をクリック



梁の中心が⑨⑩でクリックした位置にある場合は、芯ずれ「0」の設定で配置します。



1 3) コンクリート梁の配置（矩形指定）

- ① [建築躯体]-[梁]
- ② 「コンクリート柱（RC）」を選択
- ③ [指示方法]から「矩形指定」を選択
- ④ [梁せい]に梁の高さをキー入力
- ⑤ [梁天端（始端）]に梁の天端高さをキー入力
- ⑥ 頂点をクリック
- ⑦ 対角の頂点をクリック



建築躯体-梁

☒ コンクリート梁(RC) ☐ 鉄骨梁(S) ☐ SRC梁

指示方法

☒ 矩形指定 ☐ 2点指示 ☐ 連続指定 ☐ 中心指定 ☐ 躯体化

基準点

断面サイズ

中央断面 始端断面 終端断面

コンクリート

梁幅 500 mm

梁せい ④ 1800 mm

鉄骨

梁幅 294 mm

梁せい 300 mm

ウェブ厚 8 mm

フランジ厚 12 mm

芯ずれ ① 0 mm

配置

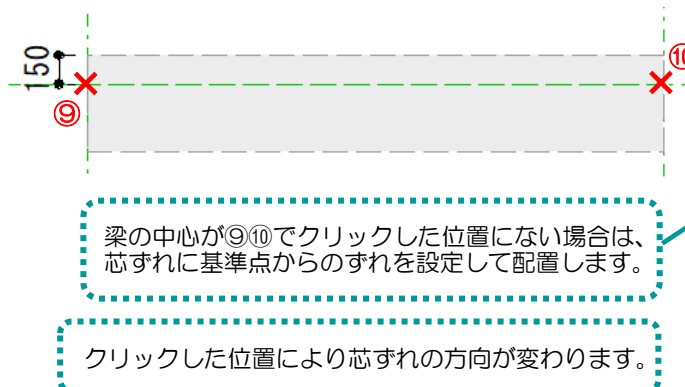
梁天端(始端) ⑤ 2800 mm + FL

梁天端(終端) 0 mm + FL ☐ 傾斜梁

配置の回転 ① 0 度 参照

1 4) コンクリート梁の配置（芯ずれ）

- ① [建築躯体]-[梁]
- ② 「コンクリート柱（RC）」を選択
- ③ [指示方法]から「2点指示」を選択
- ④ [基準点]から上を選択
- ⑤ [梁幅]に梁の幅をキー入力
- ⑥ [梁せい]に梁の高さをキー入力
- ⑦ [芯ずれ]に基準点からのずれをキー入力
- ⑧ [梁天端（始端）]に梁の天端高さをキー入力
- ⑨ 始点をクリック
- ⑩ 終点をクリック



建築躯体-梁

☒ コンクリート梁(RC) ☐ 鉄骨梁(S) ☐ SRC梁

指示方法

☒ 2点指示 ☐ 矩形指定 ☐ 連続指定 ☐ 中心指定 ☐ 躯体化

基準点

断面サイズ

中央断面 始端断面 終端断面

コンクリート

梁幅 ⑤ 1500 mm

梁せい ⑥ 1800 mm

鉄骨

梁幅 294 mm

梁せい 300 mm

ウェブ厚 8 mm

フランジ厚 12 mm

芯ずれ ⑦ 150 mm

配置

梁天端(始端) ⑧ 2800 mm + FL

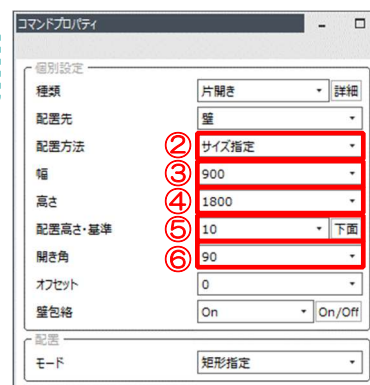
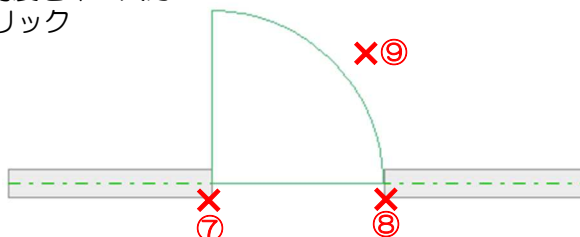
梁天端(終端) 0 mm + FL ☐ 傾斜梁

配置の回転 ① 0 度 参照

1 5) 開口部（片開き）の配置

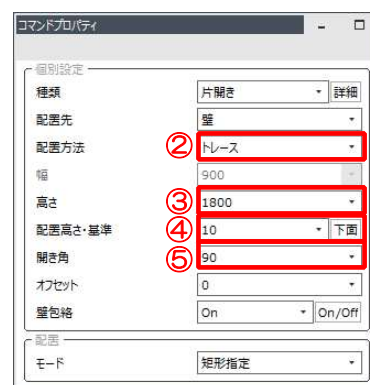
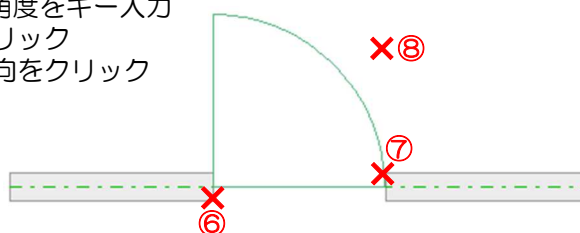
- ① [建築躯体]-[開口]-[片開き]
- ② [配置方法]から「サイズ指定」を選択
- ③ [幅]に扉の幅をキー入力
- ④ [高さ]に扉の高さをキー入力
- ⑤ [配置高さ・基準]から「下面」を選択し扉の下端高さをキー入力
- ⑥ [開き角]に扉の開き角度をキー入力
- ⑦ 壁上で配置位置をクリック
- ⑧ 配置方向をクリック
- ⑨ 開く方向をクリック

開口部は必ず壁の上に配置します。



1 6) 開口部（片開き）の配置（トレース）

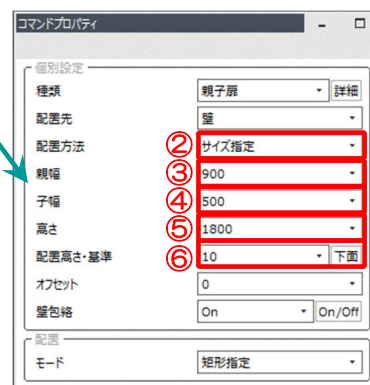
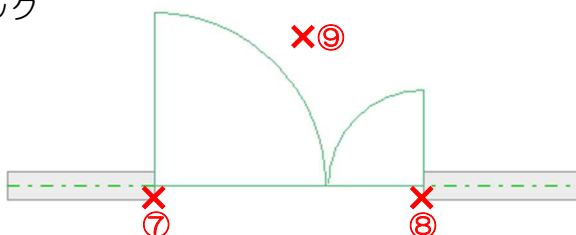
- ① [建築躯体]-[開口]-[片開き]
- ② [配置方法]から「トレース」を選択
- ③ [高さ]に扉の高さをキー入力
- ④ [配置高さ・基準]から「下面」を選択し扉の下端高さをキー入力
- ⑤ [開き角]に扉の開き角度をキー入力
- ⑥ 壁上で配置位置をクリック
- ⑦ 開口部の幅と配置方向をクリック
- ⑧ 開く方向をクリック



1 7) 開口部（親子扉）の配置

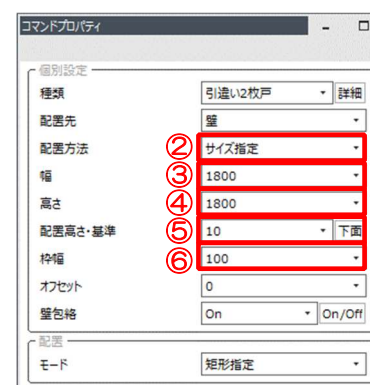
- ① [建築躯体]-[開口]-[親子扉]
- ② [配置方法]から「サイズ指定」を選択
- ③ [親幅]に親扉の幅をキー入力
- ④ [子幅]に子扉の幅をキー入力
- ⑤ [高さ]に扉の高さをキー入力
- ⑥ [配置高さ・基準]から「下面」を選択し扉の下端高さをキー入力
- ⑦ 壁上で配置位置をクリック
- ⑧ 配置方向をクリック
- ⑨ 開く方向をクリック

[親幅][子幅]を同じ数値に設定すると両開き扉になります。



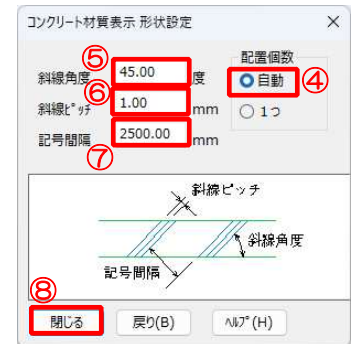
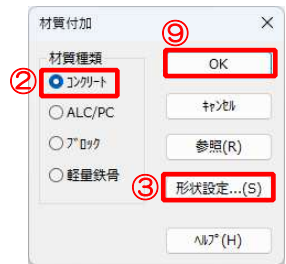
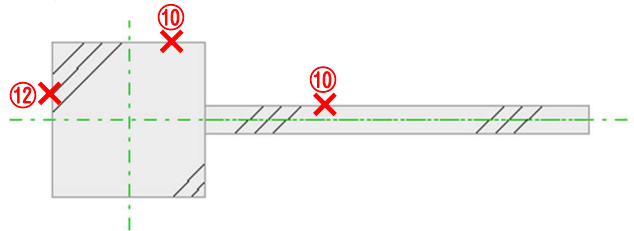
1 8) 開口部（引違い2枚戸）の配置

- ① [建築躯体]-[開口]-[引違い2枚戸]
- ② [配置方法]から「サイズ指定」を選択
- ③ [幅]に2枚戸の幅をキー入力
- ④ [高さ]に2枚戸の高さをキー入力
- ⑤ [配置高さ・基準]から「下面」を選択し2枚戸の下端高さをキー入力
- ⑥ [枠幅]に2枚戸の枠の幅をキー入力
- ⑦ 壁上で配置位置をクリック
- ⑧ 配置方向をクリック



1 9) 材質付加

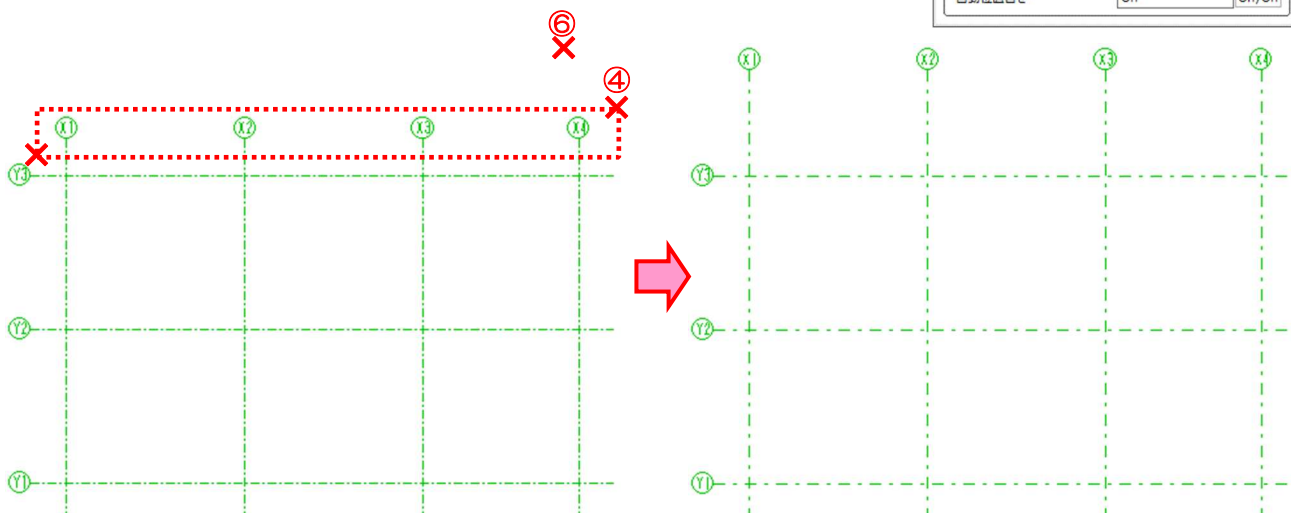
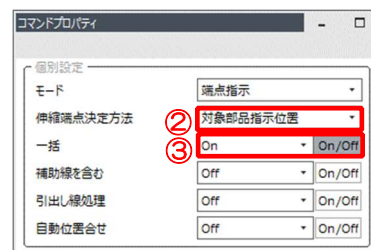
- ① [建築躯体]-[材質付加]
- ② [材質種類]から「コンクリート」を選択
- ③ <形状設定>ボタンをクリック
- ④ [配置個数]から「自動」を選択
- ⑤ [斜線角度]に線の角度をキー入力
- ⑥ [斜線ピッチ]に線の間隔をキー入力
- ⑦ [記号間隔]に記号の間隔をキー入力
- ⑧ <閉じる>ボタンをクリック
- ⑨ <OK>ボタンをクリック
- ⑩ 材質付加する躯体をクリック
- ⑪ 右クリックで確定
- ⑫ 躯体上で配置基点をクリック



躯体編集パターン

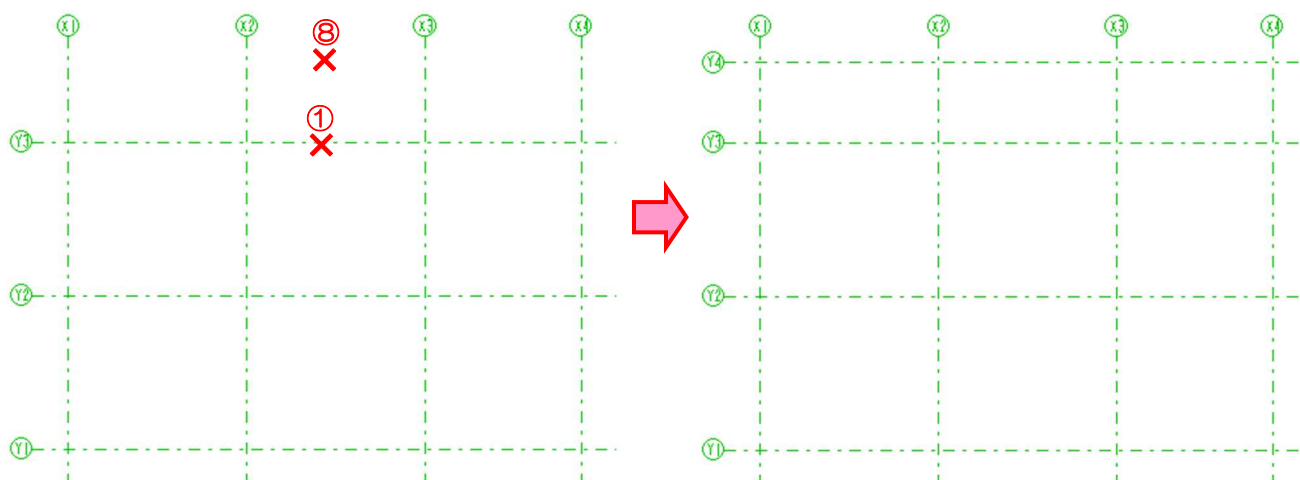
1) 通り芯の伸縮

- ① [建築躯体]-[伸縮]
- ② [伸縮端点決定方法]から「対象部品指示位置」を選択
- ③ [一括]を「On」に設定
- ④ 伸縮する通り芯の端点側を選択
- ⑤ 右クリックで確定
- ⑥ 伸縮させたい位置でクリック



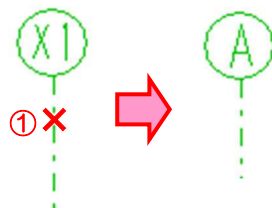
2) 通り芯の追加

- ① コマンドキャンセルの状態では基準とする通り芯をクリック
- ② 右クリックして[継続通り芯]を選択
- ③ [配置方法]から「芯間隔・本数指示」を選択
- ④ [通り芯間隔]に通り芯の間隔をキー入力
- ⑤ [作成本数]に通り芯の本数をキー入力
- ⑥ [バルーン作成]にチェック
- ⑦ <OK>ボタンをクリック
- ⑧ 通り芯の配置方向をクリック



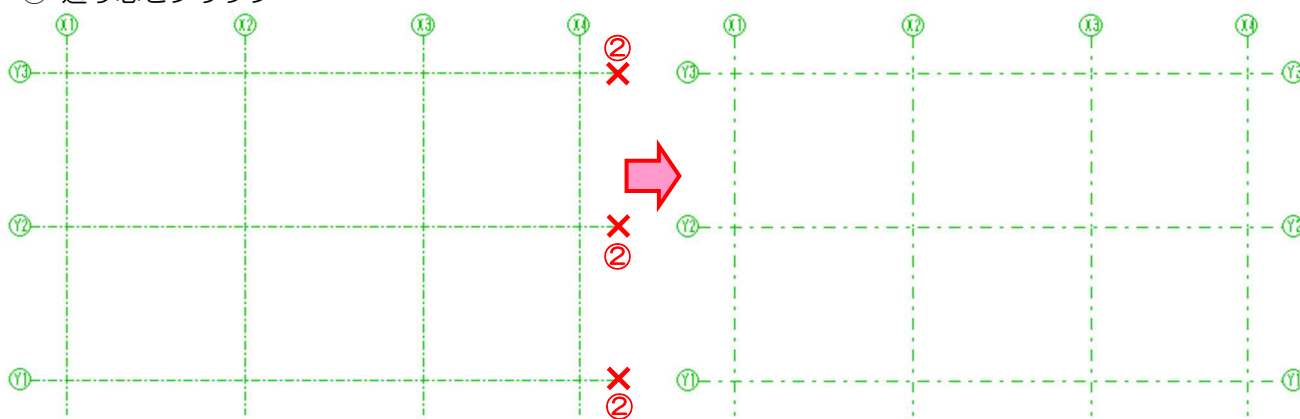
3) 通り芯名称の変更

- ① コマンドキャンセルの状態ですり芯をクリック
- ② プロパティの[バルーン文字列]に通り芯番号をキー入力
- ③ [Enter]キーを押す



4) 通り芯記号（バルーン）の追加

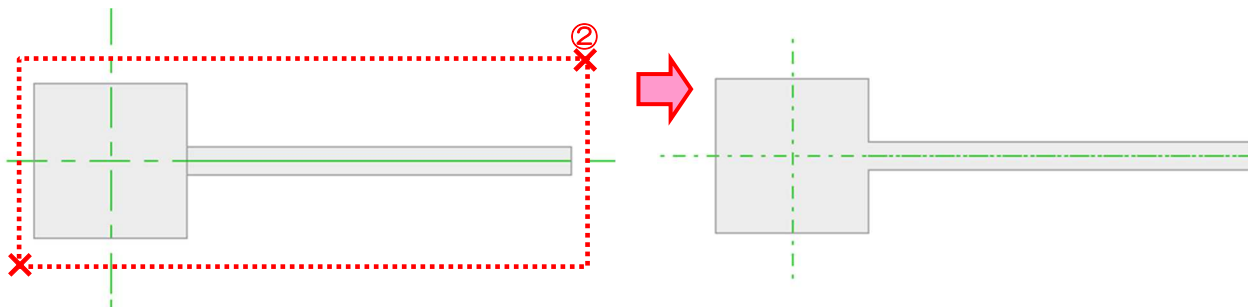
- ① [建築躯体]-[通り芯記号表示]
- ② 通り芯をクリック



通り芯記号（バルーン）が配置されていない通り芯の端点上をクリックするとバルーンが配置されます。
通り芯記号（バルーン）が配置されている通り芯の端点上をクリックするとバルーンが削除されます。

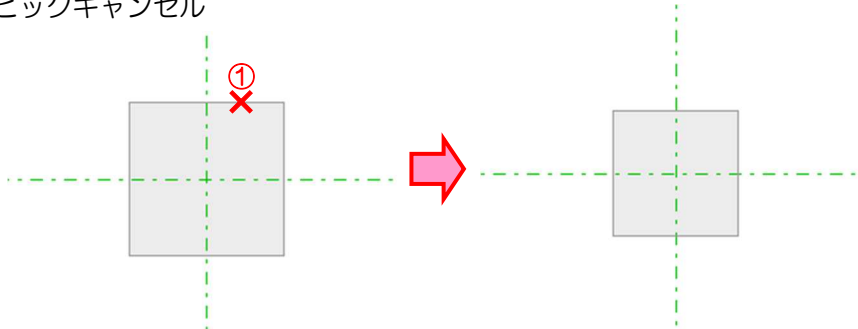
5) 包絡処理

- ① [建築躯体]-[包絡処理]
- ② 包絡する躯体を選択
- ③ 右クリックで確定



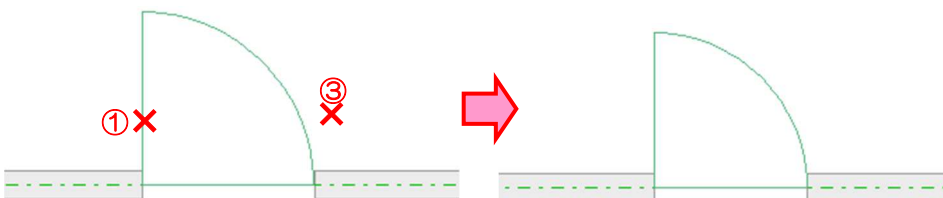
6) 大きさの変更（柱）

- ① コマンドキャンセルの状態です柱をクリック
- ② [断面縦] [断面横]に柱のサイズをキー入力
- ③ ピックキャンセル



7) 大きさの変更（片開き）

- ① コマンドキャンセルの状態です片開きをクリック
- ② [幅]に片開きの幅をキー入力
- ③ 幅を変更する方向でクリック
- ④ ピックキャンセル



8) 塗りつぶしの変更

- ① コマンドキャンセルの状態です躯体をクリック
- ② <ハッチング・塗りつぶし・保温>ボタンをクリック
- ③ 「塗りつぶし」の「...」ボタンをクリック
- ④ 色を選択
- ⑤ <OK>ボタンをクリック
- ⑥ [透過率]に躯体の透過率をキー入力
- ⑦ <OK>ボタンをクリック
- ⑧ ピックキャンセル

